

❖科目名Course Title			
生態学（豊かな農畜産環境の理解のために）[ECOLOGY]			
❖授業担当教員Instructor			
熊野 了州 [KUMANO Norikuni], 小山 耕平 [KOYAMA Kohei], 赤坂 卓美 [AKASAKA]			
❖開講学期Semester	前期	❖対象学年Year	2年～
❖履修可能人数Capacity	遠隔 0人	❖単位数Number of Credits	2
	オンライン 20人 オンデマンド 0人 対面 0人	❖授業形態Type of Class	

❖キーワードKey Words	
進化、適応、行動、個体群、群集、多様性、生態系	
❖授業の目的Course Objectives	
❖授業概要Course Description	
自然選択による進化を通して生物の生活や行動が適応により形成されることを述べる。次に生物の生活や行動の適応が、個体間関係を通じて生物集団の動態と群集の構造を規定することを述べ、さらに生物生産の場である生態系について生態系間の関わりも含めてふれる。	
❖到達目標Course Goals	
「外来種を含む昆虫や動植物の管理と防除」「土地管理計画」などと生態学を関連付けることができ、生態系を複合的に捉えることができるようになる。	
❖授業計画Course Schedule	
<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 生態学とは、生物と環境</li> <li>2) 進化と適応度、自然選択</li> <li>3) 適応度の拡張</li> <li>4) トレードオフ</li> <li>5) 寿命と生活史</li> <li>6) 行動生態学・個体群生態学の基礎</li> <li>7) 個体群</li> <li>8) 性比</li> <li>9) 採餌戦略</li> <li>10) 捕食回避</li> <li>11) 群集生態学の基礎</li> <li>12) 群集の尺度</li> <li>13) 生物群集と環境との関係</li> <li>14) 景観と生物の関わり</li> <li>15) 景観の構造と時空間変化</li> <li>16) 試験</li> </ol>	

❖成績評価Grading System
出席・授業態度、レポート、試験等による総合評価
❖テキストTextbooks
生態学入門（第2版）（東京化学同人）ISSN: 4807907832, ISBN: 9784807907830
❖参考書Reading List
生き物をめぐる4つの「なぜ」（集英社）, 群集生態学（宮下直・東京大学出版会）, 景観生態学—生態学からの新しい景観理論とその応用（モニカ・ターナー・文一総合出版）, 生き物の進化ゲーム—進化生態学最前線：生物の不思議を解く—大改訂版（酒井 聡樹ら・共立出版）
❖準備学習Homework
高校生物の生態・進化に関する部分を復習しておく。
❖オフィスアワーOffice Hour
講義終了時より1時間
❖連絡先E-mail
nrkumano@obihiro.ac.jp
❖質問・相談への対応方法Contact Information
❖履修上の注意Notes
❖備考Other Information